

公立大学法人青森県立保健大学  
平成29年度 業務実績評価書（案）

平成30年8月

青森県地方独立行政法人評価委員会



# 目 次

第一	評価の基本的な考え方	-----	1
第二	評価の結果		
1	全体評価		
(1)	総評	-----	3
(2)	業務の実施状況	-----	4
(3)	組織、業務運営等に係る改善事項等	-----	4
2	項目別評価		
(1)	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）	-----	5
(2)	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）	-----	6
(3)	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）	-----	7
(4)	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画	-----	8
(5)	財務内容の改善に関する目標を達成するための計画	-----	8
(6)	教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに 当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画	-----	9
(7)	その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画	-----	9

## 第一 評価の基本的な考え方

青森県地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第78条の2第1項及び第2項の規定に基づき、公立大学法人青森県立保健大学（以下「青森県立保健大学」という。）の平成29年度における業務の実績について、以下の基本的な考え方により評価を行った。

評価の実施に当たっては、青森県立保健大学の年度計画に定めた事項ごとにその実績等を明らかにした業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行い、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行う。

### 1 項目別評価

中期計画に掲げる次の事項ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特筆すべき事項の内容を総合的に勘案して、5段階により評価する。なお、教育研究については、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、外形的な進捗状況を評価する。

- (1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）
- (2) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）
- (3) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）
- (4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画
- (5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画
- (6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画
- (7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画

#### 〔5段階〕

- 5：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
- 2：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- 1：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

### 2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、平成29年度における業務実績の全体について、記述式により総合的に評価する。また、必要がある場合は、業務運営の改善その他の勧告をする。

青森県地方独立行政法人評価委員会委員及び専門委員

区 分	氏 名	役 職 等
委員長	伊 藤 成 治	国立大学法人弘前大学 理事・副学長
委員（委員長職務代理者）	大 矢 奈 美	青森公立大学経営経済学部 准教授
委員	中 山 恵美子	有限会社イニシオ 代表取締役
委員	西 川 弥 生	税理士
委員	西 原 和 昭	日本政策金融公庫 青森支店 農林水産事業 事業統轄
専門委員（大学関係）	梅 庭 牧 子	青森県国民健康保険団体連合会 保健活動推進専門員

## 第二 評価の結果

### 1 全体評価

#### (1) 総評

青森県立保健大学は、本県の保健、医療及び福祉に係る諸課題の解決に向けて取り組むことを理念として、人間性豊かでグローバルな視点を持ち、地域特性に対応できる能力を兼ね備えた保健、医療及び福祉の中核的役割を果たすことができる人材を育成すること、並びに保健、医療及び福祉の教育研究拠点として培った人的資源や教育研究成果を広く地域社会に還元するとともに、産学官民の連携した取組による地域貢献活動を展開し、県民の健康と生活の向上に寄与することを使命としている。

第二期中期目標・計画期間（平成26年度から平成31年度まで）の4年目となる平成29年度は、即戦力となりうる人材の育成につながる専門教育の実施をはじめ、学生のキャリア支援の充実等により、各種国家試験合格率について高水準を維持しており、高い成果を上げたと認められる。

年度計画については、中期計画の達成に向けて、ほぼ計画どおりに実施したと評価できる。

なお、業務実績報告書は業務実績等を対外的に説明するものであることから、年度計画どおりの実績であるか又は計画以上の実績であるかをわかりやすい表現で記載するよう努める必要がある。

## (2) 業務の実施状況

業務の実施状況は、全体として年度計画に定めた事項は着実に実施されている。

### <評価結果の概要>

	特筆すべき 5	順 調 4	おおむね順調 3	やや遅れ 2	著しく遅れ 1
(1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画 (教育)		○			
(2) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画 (研究)		○			
(3) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画 (地域貢献)		○			
(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画		○			
(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画		○			
(6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画		○			
(7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画		○			

## (3) 組織、業務運営等に係る改善事項等

特に改善勧告を要する事項はない。

## 2 項目別評価

(1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）

評価

4：中期計画の達成に向けて  
順調な進捗状況にある。

### <評価の理由>

年度計画の記載61項目中6項目が「年度計画を上回って実施している」、53項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたが、大学院生の研究発表の促進に係る項目について、一人当たりの査読のある学術雑誌への投稿件数が目標に届かなかったことから「年度計画を十分には実施していない」と認められた。

「年度計画を十分には実施していない」とされた項目はあったものの、当該項目について、研究の基盤となる科目を重点的に開設するなど改善策を講じていること及び下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

### <特に評価する事項>

- ・ 健康科学部共通教育の展開に関して、ヘルスリテラシー科目群を新ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）の「統合的実践力」を身につけられる中心科目として位置付け、1年生から4年生まで継続して学習できるようにするため、計画では2単位2科目の追加を想定していたが、実績では4科目5単位を追加し、4つの学科が合同して4年間学ぶプログラムを構築している。
- ・ 専門教育の推進に関しては、看護学科におけるシミュレーション教育の導入や栄養学科における総合演習での取組及び小児糖尿病サマーキャンプ参加といった将来を見据えた教育プログラムを設定するなど、即戦力となりうる人材の育成につながる取組を実施している。
- ・ 学生支援方策の充実に関して、国家試験対策や就職ガイダンス等のキャリア支援の充実等により各種国家試験合格率及び就職率※1が引き続き高い水準を維持しており、取組が成果を上げている。また、学生相談窓口の充実やこれまで新入生の入学時にのみ実施していた「健康調査」を在学生にも実施するなど、学生への細やかな支援についても評価できる。

### <その他の意見>

高大連携事業に関して、高校生の県立保健大学への入学の動機付け並びに学習意欲の喚起を目的として、高校側の正規授業の一部として高校生が大学講義に参加する形態で実施されており、受講生との座談会を開催するなどの工夫が見受けられるが、県立大学の機能を果たすため、高大連携の効果的な方法等を引き続き検討していただきたい。

※1 各種国家試験合格率及び就職率

H29 主な国家試験合格率

看護師98%、保健師93.3%、助産師100%、理学療法士93.5%、社会福祉士79.2%、精神保健福祉士100%、管理栄養士97.1%。

H29 卒業生就職率

学部全体98.6%



(2) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）

評価

4：中期計画の達成に向けて  
順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載8項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

研究成果の社会への還元に関して、知的財産の活用の一環として、これまでの取組が成果につながり始めており、各種展示会への出展や県内企業等とのマッチングなど事業化への具体的な道筋が見通せるところまで取組が推進されている。

<その他の意見>

地域課題の解決に向けた研究の推進に関して、健康課題解決に向け、新たに重点課題研究を設定し取り組んでいるが、その実績に係る単年度評価の明確な指標について検討していただきたい。

(3) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）

評価

4：中期計画の達成に向けて  
順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載11項目中1項目が「年度計画を上回って実施している」と認められ、10項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

県内就職率の向上に関して、採用者側の採用力を向上させるためのセミナーの開催や就職地決定要因調査・分析など、「COC+事業※2による「女子学生の県内就職・定着に向けたキャリア支援教育プログラム」の開発」により、県内就職率の向上につながる取組を実施している。

<今後の課題とする事項>

県内就職率※3の向上に関して、目標達成の困難さは理解するものの、学生個々の特性に対応した支援に加え、県内就職者に対する卒後教育体制を整備するなどの継続的な支援、学生が参画する地域貢献の機会を増加させるなどといった県内定着につながる取組を検討していただきたい。

※2 COC+事業

文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」のこと。

大学が中心となって自治体や企業と協働して、雇用創出や地域のリーダーとなる人材を育成すること等を目的としている。

※3 H29 県内就職率 全学部合計31.3%

看護学科27.0%、理学療法学科36.7%、社会福祉学科40.7%、栄養学科24.2%、

(参考) 目標44.4%以上

(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画

評価

4：中期計画の達成に向けて  
順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載10項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

事務職員に対する研修制度の実施に関して、青森県内協同SD研修会、全国障害学生支援セミナー、日本学生支援機構学生支援研修などの職場外研修への職員の派遣や、通信教育の受講費用の一部を助成する制度の継続など、人材育成に向けた取組を積極的に実施している。

(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画

評価

4：中期計画の達成に向けて  
順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載11項目中1項目が「年度計画を上回って実施している」と認められ、10項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

科学研究費補助金の獲得推進に関して、科学研究費補助金の獲得件数が、計20件と目標の23件をわずかに下回ったものの、科学研究費補助金の獲得へ向け、学内公募説明会など様々な取組を継続実施することで、応募件数は39件と前年度の34件を上回ったほか、科学研究費補助金以外の外部資金の獲得件数は、計8件と目標の7件を上回っており、着実に成果を上げている。

<今後の課題とする事項>

平成27年度に発生した郵便切手の用途不明事案について、複数の再発防止策が既に講じられているが、継続的かつ効果的に取り組むことが肝要であるため、引き続き再発防止策の改善に努めていただきたい。

(6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画

評価

4 : 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載6項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたこと等を総合的に勘案し、「4 : 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

(7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画

評価

4 : 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載8項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたこと等を総合的に勘案し、「4 : 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。